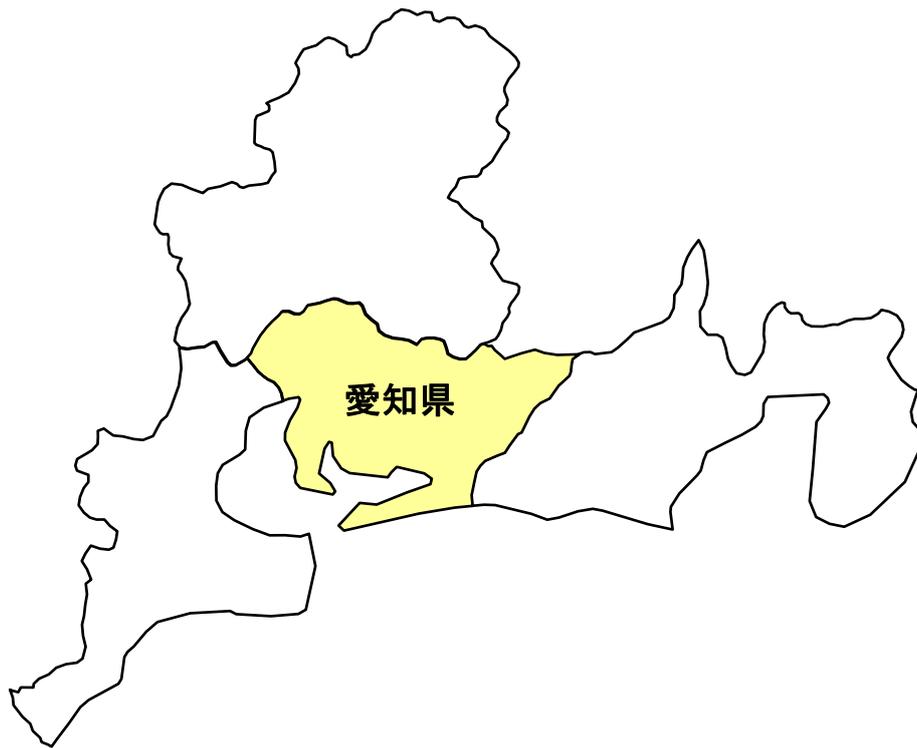


最近の愛知県内経済情勢について

(県内経済情勢報告)



令和5年7月

財務省東海財務局

1. 総論

愛知県内経済は、緩やかに回復している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【総括判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回との比較
総括判断	緩やかに回復している	緩やかに回復している	

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している
生産活動	緩やかに回復しつつある	回復しつつある
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある

2. 各論

最近の愛知県内経済情勢における各項目の動向は、以下のとおりとなっている。

（主要項目）

個人消費は、緩やかに持ち直している

スーパー販売は、横ばいとなっている。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、増加している。百貨店販売は、緩やかに回復している。家

電大型専門店販売は、弱い動きとなっている。ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。乗用車販売は、緩やかに持ち直している。

生産活動は、回復しつつある

自動車関連は、回復しつつある。金属工作機械は、高水準ながら、このところ弱含んでいる。電気機械は、自動車向けの開閉機器等を中心に、緩やかに回復している。普通鋼は、おおむね横ばいとなっている。特殊鋼は、緩やかに持ち直しつつある。

雇用情勢は、緩やかに改善しつつある

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移している。完全失業率は低水準である。求人の状況については、業種間等でばらつきがみられる。

(その他の項目)

住宅建設 — 前年を下回っている。

設備投資 — 5年度は増加見込み。

公共事業 — 前年を上回っている。

輸出入(円ベース) — 輸出は緩やかに増加している。輸入は前年を上回っている。

企業収益 — 5年度は減益見込み。

企業の景況感 — 全産業の現状判断（5年4－6月期）は、「下降」超となっている。

倒産 — 企業倒産件数は前年を上回っている。

3. 県内景気に関する地域の声

- ・ 行動制限のないゴールデンウィークやコロナ5類移行による影響もあって売上・客数が伸びており、ほぼコロナ前の水準まで回復している。インバウンドも回復してきており、東南アジアや欧米からの客が増えている。

(飲食サービス、大企業)

- ・ 半導体等の部品不足による影響は落ち着きをみせてきており、受注残解消に向けて生産稼働率を高めている。

(輸送機械、大企業)

- ・ 現在の生産状況からみれば、人手不足気味。残業や土曜出勤等で対応している。今後、更に生産量が増えるようなことがあれば、増員のための従業員募集をしていかなければならない。

(輸送用機械、大企業)

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 経済調査課

(052)951-2632(ダイヤルイン)

2. 愛知県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ = <https://lfb.mof.go.jp/tokai/>